

日本繊維板工業会 NEWS

No.2

2017年6月20日発行

グリーンビルド展2017に出展

6月7～9日、当工業会としては約30年ぶりに展示会（於：東京ビッグサイト）に出展しました。

今年度の事業計画に「展示会等による木質ボードの周知と啓発活動」を掲げており、林野庁コーナーからブース無償提供のオファーがあり参画しました。

サンプル、カタログ、
画像、ノベルティーをご
提供いただいた会員各位
に感謝申し上げます。

「スマートファクトリー」
「防災産業展」「植物工場・
スマートアグリ」「バイオマ
スエキスポ」と併設で、
異業種の人々に木質ボード
が、どの程度浸透している
かを認識する良い機会となりました。3日間の入場者数
は約4万人で春のJapanShop、建築・建材展の20万人、
秋のJapanHomeShowの10万人に比べると地味
で、繊維板を布の繊維と間違える人もいて客層は多種
多様でした。



3×2mの小さなブースでしたが、木材・合板博物館（館長：安藤直人東大名誉教授）からお借りしたMDFで作った恐竜のモニュメントに興味を持ち、多くの人が足を運んでくれました。また、4種の厚

さの異なる木質ボードを円盤状にして透明板にはめ込んだオブジェもアイキャッチ効果がありました。

説明パネルは、
「木材のリサイクル利
用による環境貢献」
「各種ボードについて」



「耐力面材」林野庁コーナーとして「国産材の活用」も訴求しました。

工業会制作の「木質ボード」（P18）は約100部出しましたが、各社カタログ、商品に興味を示した人は少数でした。

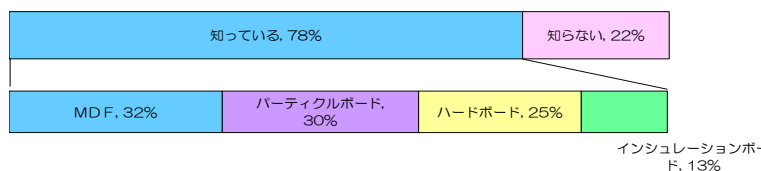


サンプルの中でインパクトがあったのはウッドファイバー断熱材で、触って質問する人もいました。

アンケート結果について

木質ボードが、どの程度認知されているか、展示パネルの感想などのアンケートを行い、回答された方にはノベルティーを提供し72件の回答を得ました。

○木質ボードをご存じですか？



78%が知っておりMDF、PB、HB、IBの順でした。また、木質ボードの環境貢献については説明パネルで94%が理解できた、との結果でした。

次回の展示会に向けて

本年12月7～9日に環境・エネルギーの総合展「エコプロ2017」に当工業会でエントリー予定です。この展示会は、大企業から大学、自治体などが幅広く出展し、企業から小学生まで多くの見学者が来ます。「ナノセルロース展」や「ウッドデザイン賞表彰」など木材に関係する企画もあります。

今回作成した展示物、パネル、カタログ類を援用する予定ですが、事前に展示案を企画・改訂などを行いますので、更なるご協力をお願いいたします。